

## 投稿規程

(2025年1月17日施行)

- I. 「医学教育」の目的
- II. 論文種類
- III. 原稿作成
- IV. 報告ガイドライン
- V. 投稿方法
- VI. 査読プロセス
- VII. 編集方針と出版倫理
- VIII. 採択後の校正
- IX. 著作権
- X. 掲載料
- XI. 別刷
- XII. 広告方針

### I. 「医学教育」の目的

「医学教育」(以下、「本誌」という)は、日本医学教育学会(以下、「本学会」という)が発行する査読付きのオープンアクセスジャーナルである。本誌は医師、医学生を対象とした医学教育のみならず、広く医療人の育成を扱う学術論文を掲載し、学会員に資する情報交換を行うことを目的とする。なお、すべての論文は研究分野の著名な専門家による完全かつ広範な査読を受ける。本誌は隔月発行(2, 4, 6, 8, 10, 12月)に加え、Supplement号を発行している。著者は「医学雑誌編集者国際委員会(ICMJE)が定める医学雑誌における学術研究の実施、報告、編集、および出版への勧告」に沿って論文を執筆すること。

本誌は英語論文の投稿も受け付けている。英語論文の投稿規定は後述を確認すること。

### II. 論文種類

本誌は下記の論文を受け付けている。論文種類を決定したら、投稿規程の原稿作成欄を参照すること。採用論文の論文種類は編集委員会が最終的に決定する。

#### 1) 原著

先行研究の知見から導き出された独創的なリサーチクエスションに基づく研究論文の区分である。研究方法論としては、量的研究、質的研究、文書研究、実験研究、観察研究、アクションリサーチ等を含む。原則として本文には、海外と国内の研究調査に基づく本テーマの重要性、先行研究からわかっていること、わかっていないこと、確固たる研究目的、存在論/認識論や理論的枠組み、教育理論への貢献、新たな知見の提示等が含まれること。人を対象とする場合は倫理審査が必要である。

#### 2) 総説

複数の論文、根拠となる文献等を体系立ててまとめ、そのテーマを概説しつつ新たな概念・展望を提示する論文の区分である。倫理審査は不要である。

#### 3) 短報

限られた知見、少数のエビデンスに基づく読者に有用な論文の区分である。例えば、教育に関する少数の調査データを分析した研究や、教育実践の単回で少数の量的あるいは質的な評価・検証を行った教育事例報告、学生、研修医等が主体的に取り組んだ萌芽的な教育研究等が含まれる。人を対象とする場合は倫理審査が必要である。

#### 4) 実践報告—新たな試み—

他に類を見ないユニークな教育実践の共有を目的とする実践報告の区分である。教育実践の詳細に加えて、教育理論、モデル、他分野の教育方略等に基づく設計の背景や実践の振り返りを記述すること。アンケートやインタビュー等の倫理審査を必要とするデータは含めない。

#### 5) 視点

医学教育にまつわる事象に関して、様々な分野における知見を踏まえ、教育学的観点からその事象を考察し新たな視点を建設的に提示する区分である。新たな研究・調査データは扱わないこと。

#### 6) 学生からの提案

医学教育にまつわる事象に関して、学生の斬新かつ建設的な意見や提案を掲載する区分である。投稿者は学生であること(大学院生を除く)。

#### 7) 論文を読んで

本誌に掲載された論文に対する意見を掲載する区分である。

#### 8) 掲示板

・書評  
最近出版された医学教育関連の単行本の書評(主に招待論文)。

・文献紹介  
国内外で発表された論文や書籍で、医学教育に役立つと思われるもの。

#### 9) 偲ぶ声

逝去された日本医学教育学会会員を追悼する文章。

### III. 原稿作成

これ以降の投稿規定につきましては、右記のQRコードよりご覧ください。

